

Check(確認・評価)2016年度評価 2016.2.13

評価日	実行してどうだったか (検証)	クリア(終了)/持ち越し	理由(持ち越す場合は新たな仮説を立てて記載)	
<1501	入所施設が利用できない	部会としての根本的解決は困難であるが、課題としては存在するので持ち越して課題として発信し続けることにする。	・柏原市としての大きな課題であるので、障害福祉計画などの行政計画で検討してもらう。 ・対応を工夫するにも、制度上のいろいろな規制があったり、資金面の課題があったりするのでそのような面での行政との協議も必要。 ・ショートステイのニーズ、特に緊急ショートについては大きな課題である。ショートの予約が必要な時に取れないという問題の裏には、予約を埋めておかないと運営が苦しいという経営上の問題もある。	
<1502	グループホームを利用できない			
<1503	ショートステイが利用できない			
<1504	行動障害があることで、サービスを利用しにくい	課題整理会議にあげたので他部会と連携して今後検討していく	くらし部会だけではなく、他の部会とも共通の課題なので持ち越して検討する。	行動障がいの問題は、自立支援協議会全体としての取り組みが必要ではないか。事例検討、啓発活動など。
<1505	後見人が選任されていないため、サービスをスムーズに利用できない	具体的な取り組みはできていない。	中心となるのは相談部会になると思われるが、協議会としての取り組みが必要。	権利擁護の問題は、自立支援協議会全体としての取り組みが必要。研修会などを企画し、制度の周知を図る。
<1506	地域との交流や外出をする機会が少ない	11月地区福祉委員会の地域サロンにGH利用者が参加してみるという取り組みを実施した。また、2月には民生委員定例会のミニ研修にて障害者の生活の様子を紹介し	くらし部会として、具体的に取り組んでいける課題であるので継続していく。	障がい者が地域の活動に参加できる取り組みを検討・実施していく。サロンの開催、地域イベントへの参加など具体的に計画していく。
<1507	相談する窓口や役割分担がはっきりしない	課題整理会議にあげた。	終了	縦割り構造、支援をつないでいく仕組み、隙間をどう埋めるかなど、相談部会に検討を依頼する。
<1601	サービス利用に拒否感を示す人のサービスへのつなぎ方		終了	
<1602	GHの利用者間で関係性が悪化すると修復が困難		この課題としては終了	資源不足の解消という課題なので、幅を広げ表現を変えて2017の課題としてあげる。
<1603	訪問入浴を利用できる回数が少ない	部会にて検討の結果、右のとおりとした。	終了	行政計画での検討を。
<1604	重度身体障害者のサービス利用が困難		終了	行動障がいと同じく重度身体障害者の問題も、協議会全体の課題であるので協議会として取り組む必要がある。
<1605	日中活動のサービス終了後に後使えるサービスが無く家族の就労に影響が		持ち越し	在宅の暮らしを支える仕組みが不十分ということであり、くらし部会の課題でもあるが、日中・就労、相談部会の課題でもある。協議会としての検討が必要。